

竹田市西部地区 (Vol.21)

畑地かんがいだより

[発行]
竹田市西部地区営農振興協議会
(竹田市農政課)
0974-63-4805
(大野川上流開発事業事務所)
0974-68-2723

一斉防除の実施について (トマト・ミニトマト生産者)

トマトキバガについて、越冬個体の増加が確認されています。

また、黄化葉巻病については、熊本県・宮崎県で注意報が発令されており、来作への感染リスクが高まっていますので、被害拡大を防ぐため、産地一体となって防除・圃場管理の徹底をお願いします。

今年も一斉防除を実施します！！

*一斉防除とは地域全体で、トマト、ミニトマトの病害虫に対して一斉に農薬散布を行う共同作業です。

〇一斉防除スケジュール

	時期	農薬
第1回目	6月第3週 (14日～20日)	ダブルシューターSE (IRAC: 5)
第2回目	7月第3週 (12日～18日)	グレーシア乳剤 (IRAC: 30)
第3回目	8月第3週 (9日～15日)	ディアナSC (IRAC: 5)
第4回目	9月第3週 (13日～19日)	コテツフロアブル (IRAC: 13) もしくは プレオフロアブル (IRAC: UN)

一斉防除の前後には、一斉防除に使用する薬剤とは異なる IRAC コードの薬剤を使用し、ローテーション散布を心がけましょう。

農薬使用の際には必ずラベルの確認を！

(大分県豊肥振興局生産流通部園芸第二班、JA おおいた豊肥営農経済センター)

問い合わせ先 大分県豊肥振興局生産流通部園芸第二班 TEL 0974-63-1304

加工用キャベツの品種試験を行いました

大野川上流地域の主要品目であるキャベツでは、加工用需要が年々高まっています。そこで加工適性（収量性、在圃性等）に優れる品種の選定を目的に春まき栽培で試験を行ったところ、「なつおこ」が有望と考えられました。

○耕種概要

試験地区：菅生上今地区

品 種：彩風（タキイ種苗、現地慣行）

なつおこ（増田採種場）

翔陽（日本農林社）

定 植 日：令和 7 年 4 月 22 日

収 穫 日：令和 7 年 7 月 1 7 日



写真 1 なつおこの栽培状況

○結果

- ・「なつおこ」は 1 球重量に優れるとともに、芯も小さめで加工適正が高いと思われました（図 1、図 2、写真 2）。また、病害虫の発生も特に認められませんでした。
- ・「翔陽」は他の品種に比べ、裂球が多く、在圃性に課題がありました。

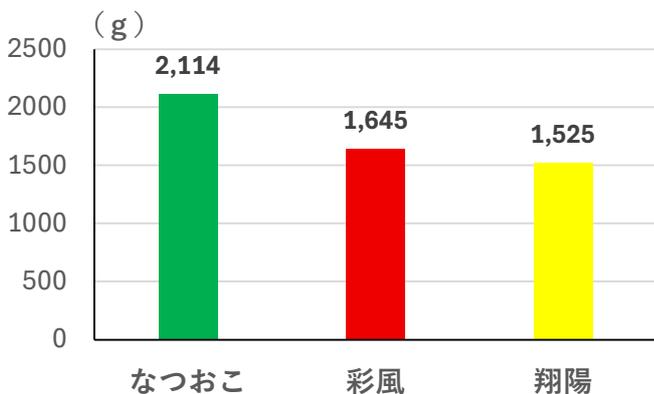


図 1 一球重量 (g) (10株平均)

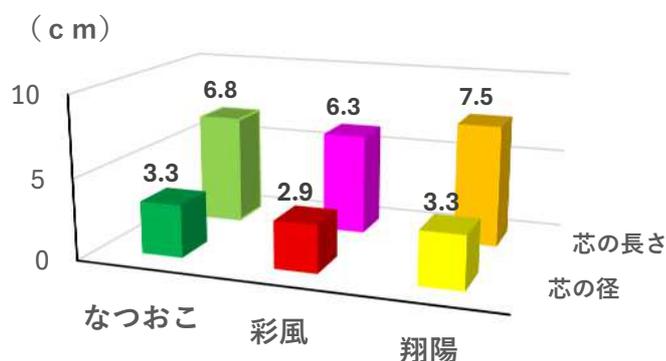


図 2 芯の径・長さ (10株平均)



写真 2 キャベツ断面 (左：なつおこ、中央：彩風、右：翔陽)

(大分県大野川上流開発事業事務所)

畑の健康診断 土壌診断のすすめ

なぜ土壌診断が必要なの？

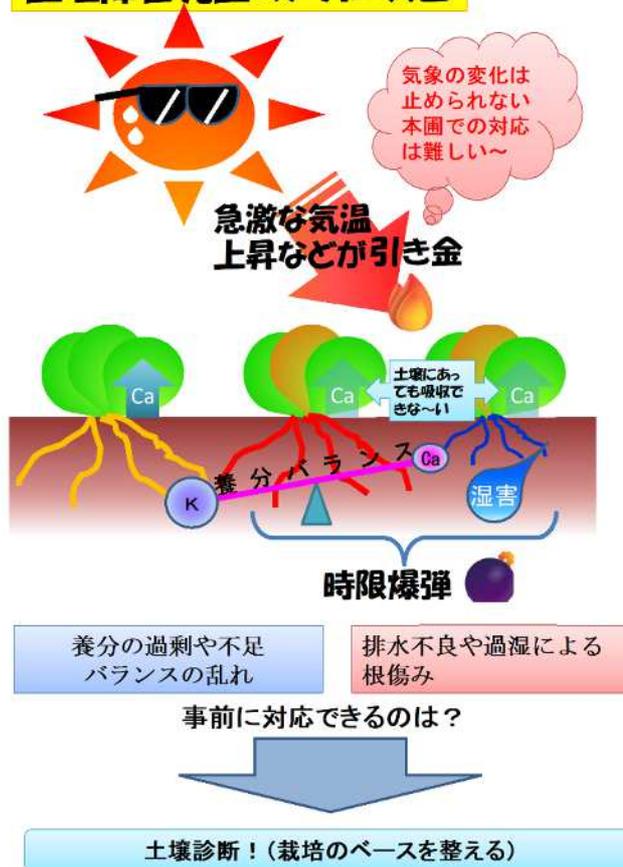
近年、異常気象の常態化により、作物の栽培環境は厳しさを増しています。特に、露地野菜栽培では、天候や環境の影響を直接受けやすく、生理障害の発生要因となることも少なくありません。しかし、栽培中に効果的な対策を講じることは難しいのが現状です。

そこで重要となるのが土壌診断です。土壌診断によって、土壌中の肥料分の過不足を正確に把握できます。肥料が過剰に蓄積した畑では、施肥効果が低くなるだけでなく、かえって作物の健全な生育を阻害する可能性もあります。

土壌の状態は作物の生育や収量に大きく影響します。土壌診断を実施することで、施肥コストの削減、さらには収量や品質の向上といった、様々なメリットが期待できます。

私たちが健康診断を受けるように、あなたの畑も定期的に「土壌診断」を行い、健康状態をチェックすることをお勧めします。

生理障害発生のメカニズム



土壌診断の主な分析項目

項目	内容
土壌 pH	露地野菜の多くは、弱酸性から中性で良く育ちます。
Ca, Mg, K 含量	養分バランスが崩れると、生理障害発生の原因になります。
陽イオン交換容量 (CEC)	土がどれくらい肥料を保持できるかを示す指標です。
電気伝導度 (EC)	土壌中の肥料成分などの濃度を示す指標です。

土壌診断のメリット

期待される効果	内容
施肥コスト削減	肥料の無駄な使用を減らせます。
収量・品質向上	作物が健全に育ち、安定した収穫が可能となります。
土壌環境の改善	連作障害などの軽減が図られます。
生理障害の予防	養分バランスが整うことで、生理障害発生の軽減が図られます。

(竹田市農政課、大野川上流開発事業事務所)

給水栓の開栓・休止制度等について

【給水栓の開栓について】

畑地の乾燥時には速やかにかん水することで、計画的な生産や出荷が可能となります。

令和 8 年度が始まる前に給水栓を開栓しませんか。

※休止給水栓の開栓申込期限や賦課基準日は各土地改良区にご確認をお願いします。

【休止制度について】

給水栓を当面使用しない場合は休止制度があります。

毎年の賦課金が免除され開栓時に手数料が必要な「休止」と毎年 1 栓 500 円の賦課金を伴い開栓時の手数料が不要な「一時休止」の 2 つの制度があります。

いずれも休止中は、防除等少量の水でも使用できません。万一、水の使用が認められた場合は、追って賦課金の請求を行います。

なお、休止給水栓については、開栓できないようにバルブロックの設置をすすめています。

給水栓、散水器具の凍結対策について

【冬季の給水栓の管理について】

- 使用しないときは給水栓バルブを閉めてください。
- 使用しないときは取水曲管を取り外し、保護ボックスの蓋を必ず閉めてください。
- タイマーを導入し取水曲管を取り外できない場合、給水栓の上に布等をかぶせてください。
- 保護ボックス内に保温材等（例：タオル・古毛布など）を入れてください。

なお、給水栓が凍結し、破損した際は**自己負担での修理**となり、費用に**50,000円以上**かかります。

また、草刈り作業中等に給水栓の保護ボックスを破損する事例が多発しております。給水栓同様、破損した際の交換費用は**35,000円以上**かかりますので、給水栓付近に目印を立てる、柵で囲うなどの対策をよろしくをお願いします。



【冬季の散水器具の管理について】

- 使用してそのままにしておくと配管内に残った水が凍結・膨張してしまい、器具が破損する危険があります。器具を守るために冬季は必ず水抜きを行ってください。万一凍結により器具が破損した場合の修理は、**全額自己負担**となりますのでご注意ください。

給水栓・末端散水施設や賦課金等のお問い合わせ・申込先は下記までお願いします。

(共通事項等)	大分県大野川上流開発事業事務所	68-2723
(共通事項・旧竹田市関係)	竹田市農林整備課大野川上流推進室	63-4806
(荻地域関係)	荻柏原土地改良区	68-2238
(菅生地域関係)	竹田市土地改良区	63-1822